

東北学院大学博物館開館10周年記念特別展

記念シンポジウム 「古墳時代王者はどんな人？」

2019年6月8日(土)13:00~17:00

於 東北学院大学ホーイ記念館地下ホール

東北学院大学文学部歴史学科辻ゼミナール(考古学)では、7年間、9回に渡って福島県喜多方市灰塚山古墳の発掘調査を続けてきました。調査の結果、2つの棺を発見し、その内部から多くの副葬品とともにほぼ1体分の古代王者の骨格が発見されました。全国的にもきわめて珍しく、重要な資料となりました。

この大切な骨格から多くの情報を得るために、それぞれの分野の第一線の研究者にお願いして、人類学の調査、DNA解析、安定同位体分析、復顔を行っていただきました。

今回のシンポジウムでは、最新の成果をご報告いただき、今から約1500年前、会津盆地に君臨した王者の姿を追究してみたいと思います。

- 1、開会、趣旨説明 13:00~13:10
- 2、福島県喜多方市灰塚山古墳発掘調査成果 13:10~13:40
辻 秀人(東北学院大学教授)
- 3、灰塚山古墳出土人骨の人類学的特徴 13:40~14:10
奈良貴史(新潟医療福祉大学教授)
- 4、灰塚山古墳出土人骨の年代測定と安定同位体分析 14:10~14:40
米田 穰(東京大学総合研究博物館教授)
- 休 憩 14:40~15:00
- 5、灰塚山古墳出土人骨のミトコンドリアDNA解析 15:00~15:30
安達 登(山梨大学教授)
- 6、灰塚山古墳出土人骨の復顔 15:30~16:00
鈴木敏彦(東北大学准教授)
波田野悠夏(東北大学大学院・日本学術振興会特別研究員)
- 7、意見交換、質問受付、サンクアール社作成画像紹介 16:00~17:00
司会 辻 秀人
- 8、閉 会

